

5 実行策シート

鹿児島県版学校事務のグランドデザイン実行策シート1ー【一覧表】

実行策シート1 【共同実施により新しい学校事務を創る】
～共同実施で学校教育力の向上をめざすためには～

	役割	担当	5年間の取組内容
鹿事研本部・各部	◎組織化に対する事務職員の意識改革を推進します。	事務局	鹿児島県版学校事務のグランドデザインの周知及び実行を働きかけるとともに、関係各機関、校長会、教頭会との連携を推進します。
		研究部	時代の変化に対応し、教育の質の向上を目的とする学校事務職員像を提案します。 全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、情報の共有化を推進します。
		広報部	広報誌「いぶき」等によるグランドデザインの周知・広報及び実践の紹介を通じて、啓発・定着を図ります。
		OA研究推進委員会	新たな学校事務職員の役割を意識付けるために、学校事務統括システムの開発を通して、徹底した事務処理の省力化・効率化を推進します。
	◎事務職員のマネジメント力向上ができるような研修内容を提案します。	事務局	県教育委員会へ学校組織マネジメント研修演習講座の企画を働きかけます。
		研究部	学校組織マネジメント研修の推進に積極的に協力します。
		研修部	他県の研修状況を調査し、研究団体としての学校組織マネジメント研修演習講座の企画を推進します。
		ホームページ担当	鹿事研ホームページ上にマネジメント研修関連情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。
	◎全国の共同実施の調査、分析を行い、その情報の共有に努めます。	事務局	全事研等を通じて、共同実施の調査・分析情報のデータベース化、共有化を積極的に働きかけます。
		研究部	全国の実践事例の分析・データベース化を推進します。
		広報部	広報誌「いぶき」等による共同実施の実践紹介を通じて、情報の共有化を図ります。
		ホームページ担当	鹿事研ホームページ上にデータベースをリンクさせ、情報の共有化を図ります。
	◎組織化による学校事務の効果的な取り組み、小中連携への関わりについて提案します。	学校事務必携編集委員会	「学校事務必携」を通じて県内の各支援室の設置状況及び概況についての情報提供を図ります。
		事務局	文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会、校長会、教頭会並びに学術研究者との相互連携・協力体制の構築に努めます。
		研究部	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、研究と情報の共有化を推進します。
		研修部	全国の先進的研究成果、学術理論に、会員が触れる場として研究大会等の企画を推進します。
		OA研究推進委員会	事務の共同実施、学校間連携、地域連携を推進するためのソフトウェアについて研究します。 共同実施業務を想定した「学校事務必携」編集について研究します。
	◎共同実施内OJTによるスキルアップシステムについて研究します。	学校事務必携編集委員会	小中連携や地域連携を想定した「学校事務必携」編集について研究します。
		事務局	文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会、校長会、教頭会並びに学術研究者との相互連携・協力体制の構築に努めます。
		研究部	共同実施内OJTによるスキルアップシステムについての研究を推進し、その成果を提供・広報します。
研修部		共同実施内OJTによるスキルアップシステムについての研修企画を検討します。	
OA研究推進委員会		共同実施内OJTで活用できるICTスキルアップ研修プログラムについての研究を推進します。	
◎共同実施によるシステム化・ICT化を提案します。	学校事務の手引編集委員会	共同実施内OJTによるスキルアップに活用するために、「学校事務の手引き」の編集やOJT研修教材について研究します。	
	事務局	文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会、校長会、教頭会並びに学術研究者との相互連携・協力体制の構築に努めます。	
	研究部/OA研究推進委員会	共同実施のシステム化・ICT化に関する研究を推進します。	
	研修部	共同実施のシステム化・ICT化に関する研修企画を検討します。	
	広報部	共同実施のシステム化・ICT化に関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。	
	学校事務の手引編集委員会	共同実施のシステム化を円滑に進めるために、「学校事務の手引き」をサポートするQ&Aや最新情報の提供サービスに関するICT化を研究します。	
学校事務必携編集委員会	共同実施のシステム化を円滑に進めるために、「学校事務必携」の編集の工夫や各種情報提供の方法について研究します。		

各地区・市町村	◎共同実施について、各教育事務所・市町村教委・校長会・教頭会等の関係機関への理解と連携を図ります。	地区理事／市町村代表者	地区・市町村内会員への意識啓発と各学校での取り組みを促進し、各地区・市町村の共同実施協議会でグランドデザインに示す新たな学校事務の展開を積極的に提言します。
	◎共同実施を活用した地域内学校の連携と教育力向上に取り組めます。	地区理事	地区内の小中連携や地域連携に関わる共同実施実践事例の情報共有を図ります。
		市町村代表者	小中連携や地域連携事業に共同実施が機能するよう積極的に働きかけます。 共同実施組織内の全学校事務システムをできる限り統一し、すべての学校で効果が実感できるよう、事務職員間の共通理解を深めるための提案を積極的に行います。
	◎共同実施実践例の交流を進め、地域全体のスキルアップを図ります。	地区理事	鹿事研を通じた共同実施実践例の紹介、地区内実践事例の情報共有化を図るとともに、市町村代表者・各会員へのサポートに努めます。
		市町村代表者	鹿事研を通じた共同実施実践例の紹介、地区内実践事例の情報共有化を図るとともに、各支援室運営の改善に主体的に参画します。 共同実施の成果における評価の観点・指標についての研究を促進し、目標達成のマネジメントサイクルが機能するよう働きかけます。
	各会員	◎各市町村、学校種、学校規模にあった形での共同実施を推進します。	各会員
◎共同実施を基盤として小中連携を進めます。		各会員	共同実施校の行事予定をまとめた一覧表を作成するなど、学校間連携の基礎的理解を図るとともに、市町村教育委員会、各学校長、教頭、教務主任との連携を密にし、共同実施で可能な小中連携サポートについて研究を推進します。
◎共同実施による事務の集中一括処理、ICT化による効率化でできた時間で教育支援に取り組めます。		各会員	鹿事研研究事例等を参考にして、教科書・就学援助・学籍事務等の標準職務表にある業務拡大に積極的に取り組み、且つシステム化・効率化を図ります。
			各共同実施組織で実行可能な教育支援について研究・提案します。
◎共同実施について学校内の理解を得るために職員へ情報を提供します。	各会員	事務、共同実施だより等の発行により、職員への情報提供を図るとともに、教員とのコミュニケーション緊密にすることで教育活動を理解し、教育の質を高める学校事務の展開を心がけます。	

実行策シート2 【事務職員の資質能力向上への取り組み】

～研修制度の充実と体系化を図る～

	役割	担当	5年間の取組内容
鹿事研本部・各町	◎トータルプロデューサーについてその必要性を幅広く周知します。	事務局	鹿児島県版学校事務のグランドデザインの周知及び実行を働きかけるとともに、関係各機関、校長会、教頭会との連携を推進します。
		研究部	研究大会等でトータルプロデューサーの必要性、具体的な役割・業務についてわかりやすく説明します。
		研修部	研究大会等でトータルプロデューサーをテーマとした研修を検討します。
		広報部	広報誌「いぶき」を通じて、トータルプロデューサーについて広報します。
		学校事務必携編集委員会	「学校事務必携」の中でトータルプロデューサーについて周知・広報します。
	◎新しい時代の学校事務を担う事務職員を育成する研修体系を構築します。	事務局	文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会、校長会、教頭会並びに学術研究者との相互連携・協力体制の構築に努めるとともに、学校事務職員の官制研修の充実を要請します。
		研究部	体系的学校事務職員研修プログラムの研究を推進するとともに、講師派遣に積極的に協力します。
		研修部	体系的学校事務職員研修の講座開設を企画します。
		OA研究推進委員会	体系的学校事務職員研修プログラムのICT分野の研究を推進するとともに、講師派遣に積極的に協力します。
		学校事務の手引編集委員会	体系的学校事務職員研修プログラムの実務及び法規分野の研究を推進するとともに、講師派遣に積極的に協力します。
	◎安定した責任ある事務処理体制のための、職制について研究します。	ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に研究大会・研修講座・セミナー等の情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。
		事務局	文部科学省、全国公立小中学校学校事務職員研究会、学術研究者との連携協力体制を構築するとともに、事務長制度の早期実現に向けて働きかけます。
		研究部	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、事務長制度等の新たな制度研究と情報の共有化を推進します。

研	◎望ましい教職員評価システムの研究を進め、事務職員の人材育成をめざします。	研修部	研究大会等で事務長制度をテーマとした研修を検討します。
		研究部	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解するとともに、全国の教職員評価システムの現状を把握しながら、事務長制度も踏まえた「めざす学校事務職員像」に近づくための評価システムを研究します。
		ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に教職員評価システム関連情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。
	◎教員とともに教育を創るため、教育課程についての研修を充実します。	研究部	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務職員の教育課程への関わりについて、実際の教育活動、指導計画と学校財務の関連などの研究と情報の共有化を推進します。
		研修部	研究大会等で教育課程をテーマとした研修を検討します。
		ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に教育課程関連情報をリンクさせ、会員の研修環境を整備します。
	◎キャリアステージに応じた研修体制を確立していきます。	事務局	研修プログラム研究の成果について、県教育委員会へも働きかけます。
		研究部	体系的学校事務職員研修プログラムの研究と併せて、職能別研修プログラムの研究を推進します。
		研修部	体系的学校事務職員研修及び職能別研修の企画について研究します。
各地区・市町村	◎事務処理のICT化などを推進し、地域内全ての事務を改善していきます。	地区理事	OA研究推進委員会のサポートを受けながら、ICT研修等の企画を検討するなどして、地区内会員のICT技能向上及び校務のICT化実践事例の共有化を図ります。
		市町村代表者	支援室グループ内の校務のICT化、共同実施業務のICT化を積極的に推進します。
	◎共同実施を活用して行える研修について研究します。	地区理事	各学校の経営・運営に関する研修成果の共有化を図ります。
		市町村代表者	各学校の経営・運営に関する研修を企画・提案します。
			教員や保護者・地域との連携に関する研修を企画・提案します。 既存業務のスキルアップを目的とする実務研修を企画・提案します。
	◎ベテランから若手への世代交代をスムーズに進めます。	地区理事 / 市町村代表者	OJT研修を充実し、新規採用者、若年者のサポート体制を構築します。
各会員	◎各種研修に参加し自己研鑽に努めます。	各会員	学校事務に関する専門誌等の情報媒体や全事研・鹿事研ホームページ等から積極的に情報を収集します。
	◎個人の研修成果を共同実施組織内全員のスキルアップにつなげます。	各会員	組織体としての意識を高め、積極的な情報提供に努めます。 発表の場を設けるなど、OJTを活用し、個人の研修成果を組織内全員の資質向上につなげるよう努めます。
	◎自己のキャリアイメージをつくり、中・長期的な視点での研修計画を立てます。	各会員	自らのライフプランを明確にし、多様な年代・職種との積極的なコミュニケーションに努めるとともに、学校事務に関する専門誌を通じて、多様な意見、事務職員論に触れます。

実行策シート3 【学校教育目標実現のための取り組み】
～教育活動への具体的な関与について

役割	担当	5年間の取組内容
◎学校教育目標達成のための組織マネジメントを推進します。	事務局	鹿児島県版学校事務のグランドデザインの周知及び実行を働きかけるとともに、関係各機関、校長会、教頭会との連携を推進します。
	研究部	学校組織マネジメント実践事例の積極的な情報共有化に努めます。
	研修部	学校組織マネジメント実践事例をテーマとした研修を検討します。
	広報部	学校組織マネジメントに関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。
	OA研究推進委員会	学校組織マネジメントが機能するための校内ICT環境整備及び活用の研究を推進します。
	学校事務必携編集委員会	学校組織マネジメント機能を意識した「学校事務必携」編集に取り組みます。
	学校事務の手引編集委員会	学校事務職員が、学校組織マネジメント機能にスムーズに移行できるよう、より実践的な事務処理手続きの手引きとしての方向性を検討します。
		「手引き」における学校の情報公開・情報管理に関する分野の拡充による情報マネジメントの推進について研究します。
	ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に学校組織マネジメントに関するサイトのリンク拡充を図り、ホームページを通じた学校組織マネジメントの情報発信を推進します。
事務局	教育支援に関する研究の充実を図れるよう、研究団体として研究体制の充実と支援に努めます。	

鹿事研本部・各部

◎学校組織の活性化と円滑な運営が行えるよう、教育支援システム(授業等の教育活動を効果的かつ円滑に進めるための事務職員による情報・財務面からのサポート体制)の研究開発を進めます。	研究部	特に教員と連携した業務の具体的な在り方について、全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校組織マネジメントと教育支援に関する研究と情報の共有化を推進します。
	研修部	研究大会等で、教員との連携や教育支援をテーマとした研修を検討します。
	広報部	教育支援システムに関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。
	OA研究推進委員会	教育支援システムが機能するための学校や共同実施のICT環境整備及び活用の研究を推進します。
	学校事務必携編集委員会	学校行事や教育課程進行を意識した「学校事務必携」編集に取り組みます。
	学校事務の手引編集委員会	「手引き」における学校行事等の教育活動に関連する職員の勤務や特殊業務手当、旅費に関する内容充実を図り、円滑な学校運営をサポートします。
	ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に教育コンテンツや授業支援に関するサイトのリンク拡充を図り、ホームページを通じた教育支援の情報発信を推進します。
◎学校の事務機能を見直し、権限と責任を明確にし、教員の事務負担軽減を図る方策に取り組みます。	事務局	教員の事務負担軽減と教育の質の向上について、関係機関及び団体等に理解を得られるよう説明をします。
	研究部	個別の事務業務について、完結までの過程を明らかにし、全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務機能と教員の事務負担軽減に関する研究と情報の共有化を推進します。
	研修部	研究大会等で教員の事務負担軽減をテーマとした研修を検討します。
	広報部	教員の事務負担軽減をテーマとする特集を「いぶき」等に設定するなどして、方策の情報共有化を図ります。
	OA研究推進委員会	教員の事務負担軽減を目的とした校務事務のICT化に関する研究を推進します。
	学校事務必携編集委員会	教員の校務事務のスケジュールを意識した「学校事務必携」編集の研究を推進します。
	学校事務の手引編集委員会	「手引き」の就学援助、教科書無償給与、学籍事務に関する事務処理について、内容の拡充を図ります。
ホームページ担当	鹿事研ホームページ上における教員の校務事務支援サイトのリンク拡充や校務事務の実践例・アイデア集のデータベース化について研究します。	
◎学校財務と教育活動を結びつけ、効果的な教育条件整備を研究します。	事務局	学校財務による教育効果について、全事研の「学校財務ウィーク」等の活動を通じ、積極的にアピールしていきます。
	研究部	市町村費や私費、その他の財源をトータルで考える学校財務マネジメントについて、全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校財務と教育活動に関する研究と情報の共有化を推進します。
	研修部	研究大会等で学校財務をテーマとした研修を検討します。
	広報部	学校財務が教育活動に機能した実践例の特集を「いぶき」等に設定するなどして、学校財務と教育活動の関係について意識啓発を図ります。
	OA研究推進委員会	学校行事や授業に必要な「教材・教員・人材」と経費をデータベース化するなど、教育条件整備を推進するための研究を推進します。
	学校事務必携編集委員会	学校行事や授業に必要な「教材・教員・人材」情報を取り入れるなど、教育条件整備を推進するための研究を推進します。
	学校事務の手引編集委員会	「手引き」における学校の予算執行、学校施設建築・管理に関する分野の拡充による教育条件整備の推進について研究します。
ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に学校財務が教育活動に機能した実践例や教育条件整備に関するサイトのリンク拡充を図ります。	
◎教育課程を理解し、学校事務の立場から立案、作成に関与します。	事務局	学校事務職員の学校経営と教育課程への参画について、関係機関及び団体等に働きかけます。
	研究部	全国の先進的研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務職員の学校経営と教育課程への参画について、研究と情報の共有化を推進します。
	研修部	研究大会等で学校経営と教育課程参画をテーマとした研修を検討します。
	広報部	教育課程参画に関する実践事例を広報誌「いぶき」等を通じて紹介します。
	OA研究推進委員会	教育課程編成支援ソフト等の研究開発について検討します。
	学校事務必携編集委員会	学校行事や教育課程進行を意識した「学校事務必携」編集に取り組みます。
	学校事務の手引編集委員会	「手引き」の学校行事等の教育活動に関連する職員の勤務や特殊業務手当、旅費に関する内容充実を図り、的確な教育課程経営判断をサポートします。
ホームページ担当	鹿事研ホームページ上に教育課程編成に関するサイトのリンク拡充を図ります。	

各地区・市町村	◎各教育事務所・市町村教委・校長会・教頭会等の関係機関へ取り組みの説明をします。	地区理事	鹿児島県版学校事務のグランドデザインの周知及び実行を働きかけるとともに、各教育教育事務所、市町村教育委員会、校長会、教頭会の要請に応じて説明します。
		市町村代表者	研究大会等の研究成果、学術理論を収集・理解し、学校事務職員が学校経営及び教育活動により積極的に関わっていくことの有用性について、市町村教育委員会、校長会、教頭会の要請に応じて説明します。
	◎共同実施を活用した教育支援の研究、実践を進めます。	地区理事	共同実施を活用した初期段階の教育支援の研究・実践の共有化を図り、その効果を共感できるような機会を設定します。
		市町村代表者	各支援室グループ内の校長、教頭、教務主任と連携し教育支援の可能性について研究を推進します。
	◎地域内学校の課題を共有し、その解決案を提示できるようにします。	地区理事	共同実施を活用した学校運営改善の研究・実践の共有化を図ります。
		市町村代表者	「共同実施協議会」等で課題について共通理解を図り、各支援室グループ内の校長、教頭、教務主任と連携した各学校運営の改善について研究を推進します。
各会員	◎学校予算の把握と編成、効率的執行をめざした学校の財務機能を統括します。	会員	市町村費や私費、その他の財源をトータルで考える学校財務機能の統括を活用した学校財務運営改善の研究・実践を図ります。
			各市町村教育委員会と連携協力し、支援室に学校財務の統括機能を持たせるよう働きかけます。
			市町村費や私費、その他の財源をトータルで考える学校財務マネジメントシステムの中に教員も取り込んでいくよう啓発します。
	◎学校の課題を理解し、その解決に向けて取り組みます。	会員	職員研修等で学校組織マネジメントの研修を行い、職員全体で自校の課題を明確にし、その解決策を探ります。
	◎学校事務の正しい理解と評価を得られるよう、広報・啓発活動に努めます。	会員	常に教育活動の充実を目的として、学校事務の機能化に向けた改善を推進し、かつ事務だより、事務部経営案等で自校での広報・啓発に努めます。
◎教員や保護者、地域社会、教育機関と連携し教育環境整備に取り組みます。	会員	教員や保護者とのコミュニケーションの場に積極的に関わることで、課題を共有し、学校経営の視点を持って学校事務改善に努めます。	
◎運営委員会や企画委員会等の構成メンバーとなり、学校運営へ積極的に関わる、基幹職員をめざします。	会員	校長、教頭、教務主任との意思疎通を緊密にし、学校運営上の課題を常に共有するよう努めます。	